

1. 事業の目的

目的1：ハードルの低いプログラムを用いた意識変容・行動変容

目的2：複数健保の協働実施による健保メリットの享受

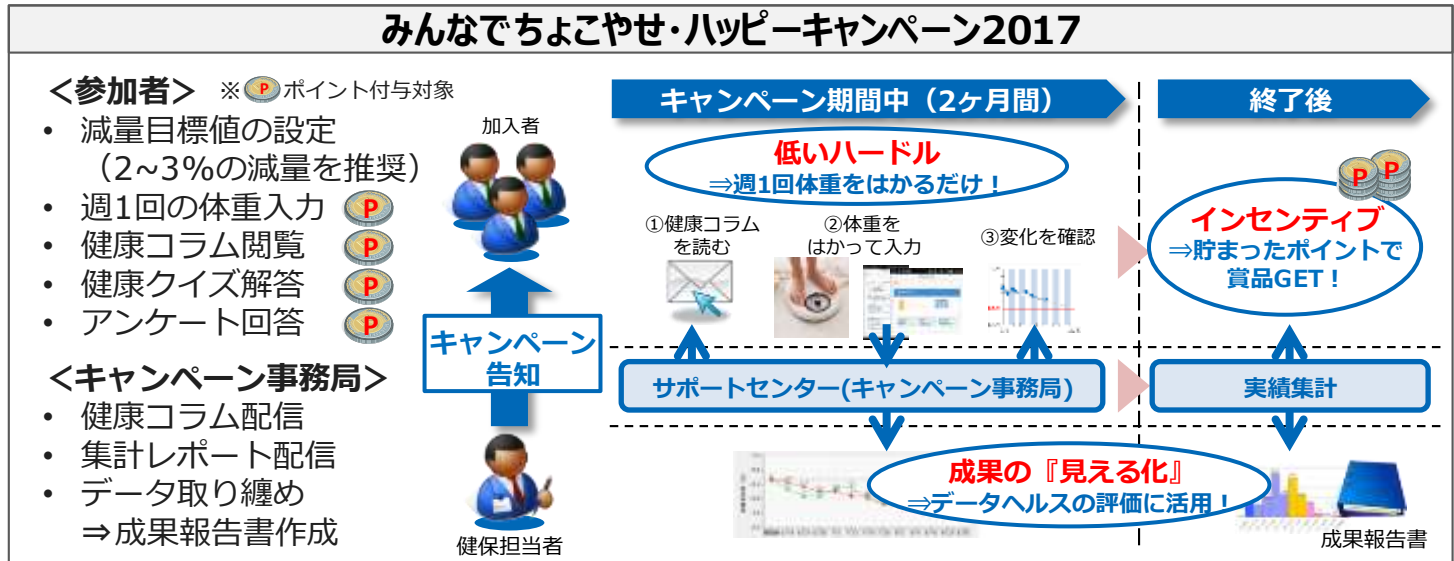
- ①基本料等の固定費を共同で負担することによる費用の抑制
- ②複数健保の参加者総数で評価することによる事業評価の適正化
- ③他の健保と実績を比較できることによる成果及び課題の明確化

2. 事業内容

本事業は、健康に無関心な層を主たるターゲットと設定し、継続のハードルが低い『週1回の体重計測でポイント（インセンティブ）を獲得』できることにより、参加者の意識変容・行動変容を狙うものです。

■全体概要

ポスター等を用いて
参加者を募集



■実施スケジュール

平成29年9月~10月	参加申込受付
10月~12月 (8週間)	キャンペーン実施
平成30年1月中旬	賞品進呈

■参加団体

代表組合：古河電池健康保険組合
 参加組合：エーアンドエーマテリアル健康保険組合
 三菱鉛筆健康保険組合
 協力団体：健康保険組合連合会神奈川連合会

3. 主な結果・活動報告

■ 結果概要

参加者数 **329名** (男性211名：女性118名、平均年齢43.1歳)

継続率 **74%** (242名)

終了時アンケート ※回収率66%

意識変容状況

体重・BMIの変化

満足度

74%が
食習慣改善

74%が
運動習慣改善

73%が
減量に成功

12名が
BMI25以上から
脱出

98%が
満足と回答

99%が
また参加したい
と回答

■ 事業運営委員会による事業評価結果

◇アウトプット指標

第1回：平成29年8月31日



第2回：平成30年1月23日



指標	結果	評価
①参加者数	329名	◎
②継続者数	242名	○
③継続率	74%	○
④体重変化率	▲1.5%	○
⑤減量者率	73%	◎
⑥参加者満足度	98%	◎

◇アウトカム指標

指標	結果	評価
①意識変容率	食習慣 74% 運動習慣 74%	○
②肥満基準脱出者	12名	◎
③BMIランクごとの 人数変化	18.5未満 3→4名 18.5-25 156→167名 (+11名) 25-30 67→57名 30以上 16→14名	◎
④継続参加意思を 示した参加者の割合	99%	◎

4. 協働開発・実施のメリット

■ 健保のメリット

- ① 基本料等の固定費を共同で負担することによる費用の抑制
- ② 複数健保の参加者総数で評価することによる事業評価の適正化
- ③ 他の健保と実績を比較できることによる成果及び課題の明確化

■ 健保連神奈川連合会のメリット

- ① 健保が保険者機能を強化するための具体的な支援策の提供
- ② 県内健保を支援する手法としての「協働実施方式」の課題抽出

共同で保健事業を実施するメリット

参加組合対象アンケート (n=3)

Q: 共同事業を実施してみて感じる、共同で実施する保健事業のメリットは何ですか。当てはまるものすべてを教えてください。

項目	選択した健保数	特記事項 (健保のコメント)
1. 委託費の削減	0/3健保	健保負担ゼロであったため当該項目についてはコメントが困難
2. 他保険者と健康課題の共有	3/3健保	他健保の状況を見られるため相互に良い刺激を得られた
3. 効果的な保健事業のノウハウ共有	1/3健保	他健保の参加者募集方法などが参考になった
4. 事業規模拡大による質の高い効果検証	3/3健保	自健保と全健保の2種類の集計結果を確認できることにより、事業成果を把握しやすかった
5. その他	2/3健保	健保間コミュニケーションが図られ情報共有が進んだ

5. 本モデル事業に参加してみた感想

- 参加者数も想定以上に集まり、大成功であった。
- 他健保の参加者数獲得状況や継続状況を随時確認できるため、お互いに良い刺激を得られ、全体としての成果獲得に繋がったと考えている。
(古河電池健康保険組合)
- 参加者募集期間～実施期間を通して、他健保の実績を確認できるのは良い。
- 参加者から、このような機会を年2回設けても良いのでは、と意見をもらった。
(予算的に難しいが)
(エーアンドエーマテリアル健康保険組合)
- 事業としては成功と言って良いと思う。景品があったためか、他の保健事業に比べて参加率が高かった。
- アンケートで良いコメントを得られていることが最も良かったことと言える。
例: 「毎週メールを送ってくれたので、入力忘れがなくてよかった。「済」とついていたのも良い。コラムを読んだのか、読んでないのか、とかがすぐにわかった。とてもよくできた企画だったと思います。」
(三菱鉛筆健康保険組合)
- 参加者の7割以上が減量に成功したことは立派な成果。参加者のアンケートも好評で、成果も十分なので、今後の展開にあたっては、スタート時のアピールでより参加者数を拡大してもらいたい。
- 特定保健指導は硬くかきこまった雰囲気だが、今回の「ちょこやせ」くらいが軽くて取り組みやすいと感じる。健保連神奈川連合会の共同事業としても進めていきたい。
(健康保険組合連合会神奈川連合会)